



# 学校だより

学校教育目標

ふるさとの魅力を発見・発信し、次代を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第12号

令和2年9月25日発行

文責 校長 宮地 浩幸

## 活用する力

今学校現場では、子ども達の学力について「何を学んだか?」、「何ができるか?」という問いで授業を振り返ります。子ども達は基礎的な「知識や技能」を習得し、それを活用して新たな学びを目指すのです。先日、井手瑞樹先生の算数、数学の指導で小学6年生と中学1年生が、校長室にそれぞれレポートを持ってきて、アドバイスのお願いをしました。レポートの内容は「比を使って、海を航行する船舶の大きさを図ること、それを統計すること」もう1つは、「加唐小中学校のグラウンドでトラック競技を行うときのスタート地点を簡単に決める方法のアルゴリズムを作成し、一覧表を作成すること」です。

レポートの中身を見て、私が少し気付いたことを子ども達に話しましたが、井手先生の指導もあって、かなり考えられたレポートになっていたことに感心しました。加唐小中学校では、極小規模校ですが勉強もスポーツも一生懸命頑張れる生徒を目指します。今回のレポート作成は、最近の教育雑誌に載っているような典型的な学びになっていることに誇らしさを感じました。なおこのレポートは第8回「算数・数学の自由研究」作品コンクールに出品されます。文化祭でも発表予定です。



## 言葉遣いが大切

9月10日(木)の朝に、ほんわかタイムを実施しました。今回は大園先生が言葉遣いについて、お話をされました。大人気のテレビアニメ「ドラえもん」に出てくるキャラクターは子ども達みんなが良く知っています。ドラえもん、のび太君、しずかちゃん、スネ夫、ジャイアンなどです。キャラクターの特徴から、セリフを見ると誰の言葉か想像できます。そんな中で『「やあ、お前がのび太か?」とは、誰のセリフ?』と先生が子ども達に質問するとみんな揃って、「ジャイアン」と答えます。しかしこれは、初回の漫画本に出てくるドラえもんのセリフだそうです。そして、漫画本では、「俺、ドラえもん」と自己紹介します。これをテレビアニメとして放送するときに、声優さんたちが「悪い言葉は使わない」というルールを決めたそうです。多分、ドラえもんを、みんなから好かれるキャラクターにしたいという思いがあったのではないかと思います。そこで、テレビアニメでは先のセリフが「こんにちは、僕ドラえもんです。」に変更されました。この例からも、言葉遣いは直接人間性を表し、強いインパクトを相手に与えます。声優さんたちで決めたルールのように、学校や家庭の中でも子ども達には見習ってほしい部分です。



## 交通安全教室，防犯教室

9月10日（木）の4校時に交通安全・防犯教室を小川島駐在員の江口巡査部長をお招きして行いました。交通安全教室については、島から出た時に遭遇するかもしれない自動車との事故を想定して、子ども達が考える場面を作ってもらいました。島では、自動車の交通量も少なく自転車をすることもあまりないので、日常的な経験としては実感を持ってないことも多いのですが、島を離れた時は、状況が一変します。子ども達も島を離れる機会も多いので、交通安全に関する意識はとても大切です。また、自転車に乗るときは、点検を怠ってはいけません。具体的には、ブレーキ、タイヤ、ハンドル、反射材、ベルを点検しましょう。

子ども達は島の中では、島民の方たちの見守りがありますが、外部の方の往来もあります。防犯教室では、決して油断しないように、怪しいと感じたら、「距離を取る」、「後ろに気を付ける」、「早めに帰る」、「行かない」、「乗らない」、「大声をあげる」、「すぐ逃げる」、「知らせる」を心掛けて欲しいと話がありました。覚えやすいようにそれぞれの頭文字をとって「今日は、イカのおすし」と覚えてくださいと指導してもらいました。

2つの教室を受けて、子ども達の感想の一部を掲載します。

・一人ひとりがルールを守っていかないとたとえ小さなルール違反でも大きな事故につながりかねないので気を付けていこうと思いました。

・島だと知っている人たちだけなので、つい安心してしまいうせがついていました。だけど島を出たら知らない人もたくさんいるので気を付けながら生活したいです。

・島には信号や標識がないので、標識の意味などもしっかり覚えておきたいと思ったし、道を横断するときには、手を挙げたり、右や左をしっかり確認して渡りたいなと思いました。

・島では標識はあまり見なかったり、自転車に乗らなかったりするけど、唐津などに行ったときは今日習ったことを気を付けたいです。

・自転車に乗るときは事故にならないようにしっかり（ルールを）守りたいです。

・横断歩道を渡るときはきちんと右左を見て渡りたいです。



今回の教室は命にかかわることを学びました。

## 早寝，早起き，朝ごはん

子どもの頃に、早寝，早起きをし、朝食をきちんと取った人ほど、大人になってからの人間関係能力が高いといった調査結果が報告されています。早寝，早起き，朝ごはんはこれまで、学力や体力の向上に欠かせない要因であることが示されていました。今回の人間関係の構築にもつながる結果を受け、極少人数の本校においては、子ども達が将来、学校では経験できなかったような、多くの人たちとの関わり合いが予測される以上、ご家庭でのご指導を是非お願いしたいと思います。